

令和4年度実務経験のある教員科目一覧表

学年	分野	科目名	単位数 (時間数)	授業内容	授業区分
1年前期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅰ	1 (30)	病院で看護師として5年以上実務経験のある教員が担当している。臨床経験で培った看護の対称に必要な看護技術であるコミュニケーション、安全安楽について、臨床経験を活かしながら事例を取り入れた内容に重点を置き教授している。また、記録・報告については情報の伝達および共有の重要性を強調した授業構成にしている。	講義・演習
1年前期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅱ	1 (30)	大学病院で看護師として5年以上実務経験のある教員が担当している。看護の対象にその実務経験を活かして対象の回復力の促進に影響する「生活環境」を整えることの重要性について教授している。また、対象の生活の場となる療養環境の整備、活動、休息・睡眠について病院という規制のある中でいかに整えていくかその考えと技術を教授している。	講義・演習
1年前期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅲ	1 (30)	大学病院で消化器、循環器の看護実務経験（5年以上）を有する教員が、その実務経験を活かして、日常生活援助技術である食事、排泄の項目について、自身の実体験を踏まえながら教授している。これらの項目は臨床においては、頻度の高い看護技術であるため、さまざまな対象に適切な援助ができるように、患者設定した事例で食事の介助、排泄の介助技術について、多くの時間を費やし演習を実施している。	講義・演習
1年前期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅳ	1 (30)	大学病院で循環器、脳血管疾患の看護実務経験（5年以上）を有する教員が、その実務経験を活かして、日常生活援助技術である衣生活、清潔の項目について、自身の実体験を踏まえながら教授している。これらの項目は臨床においては、頻度の高い看護技術であるため、さまざまな対象に適切な援助ができるように、患者設定した事例で更衣、清拭・洗髪・口腔ケア等の清潔に保つ技術について、多くの時間を費やし演習を実施している。	講義・演習
1年前期	専門分野 (基礎看護学)	地域看護学概論	1 (15)	大学病院で看護師として5年以上実務経験のある教員がその実務経験を活かして人と人がつながり、協力し合って生活していることの大切さや地域で生活する人々の健康と暮らしを守るための制度や看護活動について教授する。	講義
1年後期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅴ	1 (30)	大学病院で5年以上実務経験した教員がその実務経験を活かして呼吸・血圧・体温・脈拍（バイタルサイン）について教授している。臨床業務でもとりわけ重要な業務に位置づけている基本技術の1つであり、教員は豊富な実務経験を活かしながら、基本的な測定技術をまず講義でおさえ、さらに学生の理解が深まるよう、設定した患者の事例を通して演習を行い、学生の技術習得状況を確認している。この科目は対象の健康レベルを評価していくうえで、重要な科目である。	講義・演習
1年後期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅵ	1 (30)	大学病院で5年以上実務経験がある教員が、自身の実務経験を活かして、病院勤務で経験した診療・検査・処置の技術について、実務経験を活かして教授している。この技術は治療方針にもかかわる技術であるため、正確性を強調しながら自身の実体験を踏まえて採血・与薬・注射の項目については演習を実施している。正確な技術が習得できるように臨床現場で行われている方法も取り入れた内容で構成している。薬物療法の看護技術は臨床業務では日常業務になっているため、演習では豊富な実務体験の事例を活かしながら薬物療法を受ける患者の心理についても触れ教授している。	講義・演習
1年後期	専門分野 (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅶ	1 (30)	大学病院で5年以上実務経験のある教員が、本校で採用している「ヘンダーソンの理論」について事例をもとに自身の実務経験を活かしながら看護過程の展開を行う。授業は一方的な講義形式に限らず演習を取り入れ、学生の思考を引き出すように展開している。また、その後更に1事例を提示し、6回の演習では大学病院で5年以上実務経験のある教員がグループ担当として関わっている。学生にとって難易度の高い病態の理解に関しては、教員の実務体験を活かしながら関わっている。臨地実習にでる前の科目として位置付けており看護過程の考え方、展開について理解できるよう教授している。	講義・演習

1年後期	専門分野 (基礎看護学)	在宅看護概論	1 (15)	病院で看護師として5年以上の実務経験がある教員が、その実務経験を活かして、在宅看護の変遷やその社会的背景を理解し、社会のニーズに応じた看護活動の必要性、在宅看護を支える制度、在宅看護を支援する保健医療福祉活動と多職種連携・協働について教授する。	講義
1年後期	専門分野 (成人看護学)	成人看護学概論	1 (30)	病院で看護師として5年以上実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、成人期にある対象の健康生活に対する看護の働き、特徴的にみられる健康生活の様相に対応した看護の内容について教授する	講義
1年後期	専門分野 (老年看護学)	老年看護学概論	1 (30)	病院で看護師として5年以上の実務経験がある教員が、その実務経験を活かして、老年期にある対象の特徴、老年看護の役割・機能について教授する。	講義・演習
1年後期	専門分野 (小児看護学)	小児看護学概論	1 (30)	病院で看護師として5年以上実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、小児看護の理念を教授する。小児各期の成長・発達の特徴と、小児を取り巻く環境を教授する。	講義
1年後期	専門分野 (母性看護学)	母性看護学概論	1 (15)	病院で助産師として5年以上実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、母性看護の対象、母性看護の役割・機能について教授している。	講義
1年後期	専門分野 (精神看護学)	精神看護学概論	1 (30)	病院で看護師として5年以上実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、人間の心の成長、発達と心の健康に関連する要因、精神（心）の健康の保持増進に必要な知識を教授している。精神看護学を展開する上で基盤となる倫理や人権について学ぶ。	講義
2年前期	専門分野Ⅰ (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅶ (看護過程)	1 (30)	病院で看護師として勤務経験のある教員が、自身の実務経験を活かしながら、本校で採用している「ヘンダーソンの理論」について理論の概要を自身の実体験を踏まえながら教授したあと、紙上事例の演習を12回実施している。また、紙上事例はグループワークにより進めており、病院で5年以上実務経験のある教員がグループ担当として関わっている。学生にとって難易度の高い病態の理解に関しては、教員の実務体験を活かしながら関わっている。臨地実習にでる前の科目として位置づけており看護過程の考え方、展開について理解できるように教授している	講義・演習
2年前期	専門分野Ⅰ (基礎看護学)	基礎看護技術論Ⅷ (フィジカルアセスメント)	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が1年次の基礎看護技術論Ⅱ（観察、呼吸・循環・体温）の講義・演習での基本技術を抑えながら、教授している。また、臨地実習で経験する機会が多い呼吸器系と腹部のフィジカルアセスメント技術は演習でおさえている	講義・演習
2年前期	専門分野Ⅱ (成人看護学)	成人看護援助論Ⅰ (急性期における対象の看護)	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、急性期にある対象のもつ健康上の問題を解決するための看護を教授している。	講義・演習
2年前期	専門分野Ⅱ (成人看護学)	成人看護援助論Ⅱ (慢性期における対象の看護)	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、慢性期にある対象のもつ健康上の問題を解決するための看護を教授している。	講義
2年前期	専門分野Ⅱ (成人看護学)	成人看護援助論Ⅲ (回復期における対象の看護)	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、回復期にある対象のもつ健康上の問題を解決するための看護を教授している。	講義

2年前期	専門分野Ⅱ (成人看護学)	成人看護援助論Ⅴ (看護過程の展開)	1 (15)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、成人期にある対象のもつ健康上の問題を解決するための看護課程の考え方、展開について理解できるよう教授している。	講義・演習
2年前期	専門分野Ⅱ (老年看護学)	老年看護援助論Ⅰ	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、老年期にある対象の生活行動を理解し、基本的な技術を教授している。	講義・演習
2年前期	専門分野Ⅱ (老年看護学)	老年看護援助論Ⅱ	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、老年期にある対象のもつ健康上の問題を解決するための援助方法を教授している。	講義
2年前期	専門分野Ⅱ (小児看護学)	小児看護援助論Ⅰ	1 (15)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、健康な小児の養育に必要な知識と日常生活援助技術を教授している。	講義・演習
2年前期	専門分野Ⅱ (小児看護学)	小児看護援助論Ⅱ	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、健康問題のある小児と家族の看護、さまざまな健康段階にある小児の看護について教授している。	講義
2年前期	専門分野Ⅱ (母性看護学)	母性看護援助論Ⅰ	1 (30)	病院で助産師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、母性各期の健康に影響を及ぼす因子を理解し、健康の増進、対象が役割を果たすために必要な看護を教授している。周産期の母児の看護を通して、生命の神秘性や尊さを知り、生命尊重の価値観を養えるよう教授している。	講義
2年前期	専門分野Ⅱ (精神看護学)	精神看護援助論Ⅰ	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、精神障害者の社会復帰、地域生活に必要な制度や今後の精神看護における課題や展望について教授している。コミュニケーションのあり方を考察し、治療的人間関係の構築や発展過程について学びを深めるよう教授している。	講義
2年前期	専門分野Ⅱ (精神看護学)	精神看護援助論Ⅱ	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、代表的な精神疾患、精神障害、精神症状の概要及び看護の実際を教授する。精神障害のある対象への援助方法、精神科病棟における治療環境、安全管理を学ぶ。	講義・演習
2年前期	統合分野 (在宅看護論)	在宅看護概論	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、在宅看護の活動の場と機能、役割、対象について教授する。地域ケアシステムと社会資源を理解し調整的機能について考える。諸理論をもとに家族の機能と役割を学ぶ。	講義
2年前期	統合分野 (在宅看護論)	在宅看護援助論Ⅰ (日常生活の援助技術)	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、在宅看護に必要な日常生活援助に関する援助技術を教授する。	講義・演習
2年前期	統合分野 (在宅看護論)	在宅看護援助論Ⅱ (医療技術・対象の特性)	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして在宅看護に必要な医療処置に関する援助技術を教授する。対象の特性をふまえ、在宅看護を行う上での健康課題を学ぶ。	講義・演習
2年後期	専門分野Ⅱ (成人看護学)	成人看護援助論Ⅳ (終末期における対象の看護)	1 (30)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、終末期にある対象のもつ健康上の問題を解決するための看護を教授する。	講義・演習

2年後期	専門分野Ⅱ (老年看護学)	老年看護援助論Ⅲ	1 (15)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、加齢変化によって起こる生活機能の変化、寝たきり予防の援助方法や看護過程の展開を教授する。	講義
2年後期	専門分野Ⅱ (小児看護学)	小児看護援助論Ⅲ	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、健康問題のある子どもに対する基本的な援助方法、健康問題のある子どもの回復過程を教授する。	講義・演習
2年後期	専門分野Ⅱ (母性看護学)	母性看護援助論Ⅱ	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、母性各期の健康に影響を及ぼす因子を理解し、疾病予防及び対象が役割を果たすために必要な看護を教授する。	講義・演習
2年後期	専門分野Ⅱ (母性看護学)	母性看護援助論Ⅲ	1 (30)	病院で助産師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護技術を理解し、実施する能力、産褥3日目の褥婦の身体的変化を理解し、観察・分析・報告ができる能力、褥婦の保健指導の必要性を理解し、実施できる能力、感染症の妊婦・不妊症の患者の看護を理解し、心理面への配慮について教授する。	講義・演習
2年後期	専門分野Ⅱ (精神看護学)	精神看護援助論Ⅲ	1 (15)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、精神障害をもつ対象への看護援助の展開を教授する。	講義
2年後期	統合分野 (在宅看護論)	在宅看護援助論Ⅲ	1 (15)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、在宅看護を展開するための援助方法や考え方を教授する。	講義
3年前期	統合分野 (看護の統合と実践)	看護の統合Ⅰ	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、医療安全対策や診療の補助業務場面や療養上の世話における医療事故を理解し、患者の安全・安楽を考慮した事故防止の基礎的能力について教授する。	講義・演習
3年後期	統合分野 (看護の統合と実践)	看護の実践	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、複数の事例を設定し、必要な援助の優先順位を考え、実施することで、総合的な看護技術を教授する。	講義・演習
3年後期	統合分野 (看護の統合と実践)	看護の統合Ⅱ	1 (30)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、災害看護の基礎的知識を教授する。また、トリアージ体験や救急処置・搬送などの演習を取り入れ実践できる能力についても教授する。	講義・演習
3年後期	統合分野 (看護の統合と実践)	看護の統合Ⅲ	1 (15)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、既習の医療・医療保険（診療報酬）の知識をもとに医療チームの一員として看護サービスが実践できる基礎を教授する。チーム医療及び他職種との協働の中で、看護師として看護をマネジメントできる基礎的能力、看護管理の概要を理解し、専門職業人としての意義を高める。	講義・演習
臨 地 実 習					
1年 前・後期	専門分野 (臨地実習)	基礎看護学実習Ⅰ	1 (45)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、病院の概要を知り、看護の対象と看護活動を教授する。入院している対象の日常生活および基本的ニーズを理解し、対象が必要としている日常生活援助を実践するための能力を習得できるよう教授する。	実習
2年後期	専門分野Ⅰ (臨地実習)	基礎看護学実習Ⅱ	2 (90)	病院で看護師として実務経験（5年以上）を有している教員が、その実務経験をいかして、看護過程の構成要素と看護過程を展開する基礎的能力について教授する。	実習

2年後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	成人看護学実習Ⅰ (急性期)	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、急性期にある対象の特徴、対象の障害の変化に応じた援助について教授する。手術を見学し、手術を受ける対象を身体的・心理的側面についても教授する。	実習
3年前・後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	成人看護学実習Ⅱ (慢性期・回復期)	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、慢性期・回復期にある対象の特徴、障害に応じた援助や症状の自己管理、日常生活の自立と社会復帰に向けての援助について教授する。	実習
3年前・後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	成人看護学実習Ⅲ (終末期)	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、終末期にある対象の特徴、対象および家族の苦痛緩和とQOL実現のための援助について教授する。	実習
2年後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	老年看護学実習Ⅰ	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、対象の老化および健康障害に伴う日常生活の障害、対象に応じた援助、対象の健康の保持、増進への援助について教授する。	実習
2年後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	老年看護学実習Ⅱ	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、老年期にある対象の特徴、健康上の問題を統合的に捉え、看護過程の展開ができるよう教授する。	実習
3年前・後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	小児看護学実習	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、小児各期の特徴、こどもの成長・発達に応じた養育と対象に応じた看護援助について教授する。	実習
3年前・後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	母性看護学実習	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、妊婦・産婦・褥婦および新生児とその家族と看護について教授する。	実習
3年前・後期	専門分野Ⅱ (隣地実習)	精神看護学実習	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、精神障害を持つ対象の特性、対象に応じた知識、技術、態度について教授する。	実習
3年前・後期	統合分野 (隣地実習)	在宅看護論実習	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、地域における看護活動から、保健、医療、福祉サービスの実際、在宅療養者とその家族に対する看護の役割について教授する。	実習
3年後期	統合分野 (隣地実習)	統合実習	2 (90)	病院で看護師として実務経験(5年以上)を有している教員が、その実務経験をいかして、看護実践能力に必要とされる知識・技術を教授する。専門分野の実習を踏まえ、実務に即した実習を経験することにより、専門職業人としての責任と役割を教授する。	実習
合計単位数 (時間数)			64 (2130)		